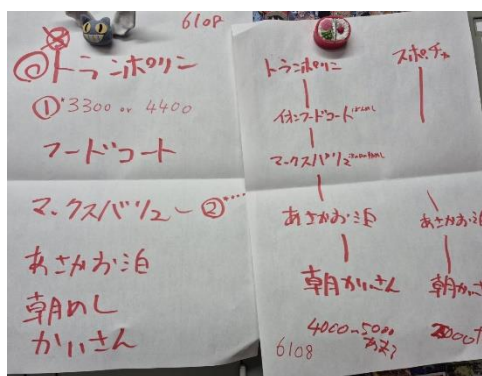




20260209



あさがおの卒所旅行は、全て6年生が自分たちで決めます。指導員は一緒にいて、口を挟む役割をします。

最近は、資金集めで皆さんが協力してくださったお金の使い道について話し合いがありました。

ゲームセンターに行きたい子、ゲームに興味がないから小物が買いたい子、それぞれです。「イオンで、1人いくら決めて、好きに使えるようにしたらいいんじゃない？」という案になりました。それなら自分が買いたい店があるイオンに行きたいと、そこで話は平行線になりました。指導員が口をはさみます

「みんなでできることで考えてほしい。来年も再来年も資金集めに協力してくれる保護者の人たちが、協力したいと思える使い方を考えてほしい」

その言葉で、また頭を抱えだす6年生たち。子どもたちが自分たちでいろんなことを調べて決めていくので、スムーズに全部が上手くいくわけではないのが面白いところ。でも、皆で悩んだ経験が子どもたちの財産になると私たちは信じています。

でも、できれば、当日は楽しいものになりますように。

文責ごっちゃん